国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

平成 23 年 11 月 21 日

各　位

会社名　　国際石油開発帝石株式会社
代表者名　　代表取締役社長　北村 俊昭
（コード番号　1605　東証第一部）
問合せ先　　広報・IR ﾕﾆｯﾄｼﾞｪﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ　橘高　公久
電話番号　　03-5572-0233

インドネシア共和国東部海域ババルスラル鉱区の取得について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、2011 年インドネシア共和国新規公開鉱区入札において、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下、JOGMEC）と共同で、インドネシア共和国東部海域ババルスラル鉱区（以下、同鉱区）を落札し、本プロジェクトの事業推進母体として設立した当社子会社のインペックスバンダ海石油㈱（以下、同社）が、本日、同鉱区の100%権益を取得しましたので、お知らせいたします。なお、同社が推進する石油等の探鉱事業は、JOGMEC の出資対象として採択されております。

当社と JOGMEC は、2009 年 12 月にインドネシア政府当局よりインドネシア東部海域における石油探査のための同国機関との共同スタディ実施の承認を受け、JOGMEC の「知見活用型海外地質構造調査」制度(*)を活用し、2010 年 12 月まで同海域における二次元地震探査等の調査を実施してまいりました。インドネシア政府当局は、上記共同スタディの結果を踏まえ、原油・天然ガス胚胎の可能性があるとして同海域の一部をババルスラル鉱区と設定し、今次公開入札に付したものです。

同鉱区は、インドネシア共和国東部海域のタニンバル諸島サムラキ市の南西約 100km に位置し、水深 200m～2,000m、鉱区総面積は約 8,170km²です。同鉱区は、当社がオペレーターとして開発準備作業を実施しているアラフラ海域マセラ鉱区アバディガス田の北西約 60km に位置し、油・ガス田の発見が期待できる有望な地域にあります。

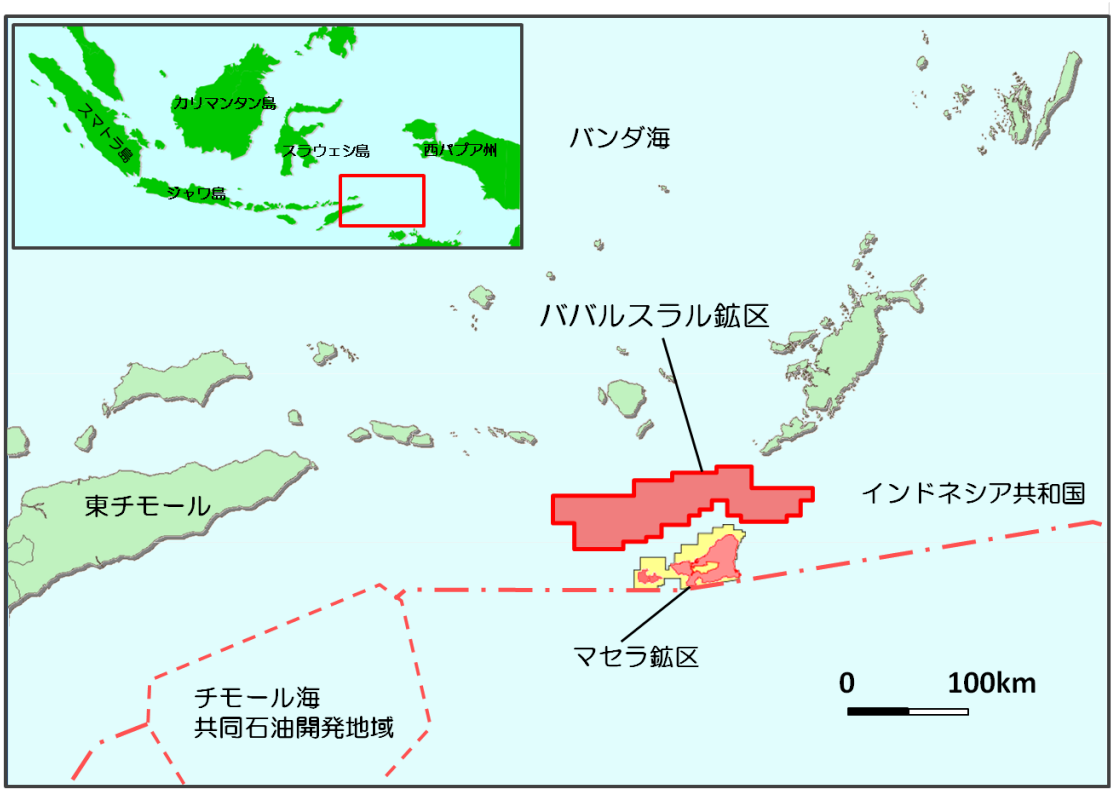
当社は、事業活動の中核であるインドネシアで、東カリマンタンマハカム沖鉱区における50%の参加権益を保有し原油・天然ガスの開発・生産事業を実施しているほか、マセラ鉱区では、オペレーターとしてアバディガス田の開発準備作業を実施している等、合計10鉱区にて探鉱・開発・生産事業を展開しております。今般、新たなオペレーター鉱区の取得により、当社グループのインドネシアでの原油・天然ガスの探鉱・開発・生産事業を一層拡大してまいります。

国際石油開発帝石株式会社
INPEX CORPORATION

（*）「知見活用型海外地質構造調査」制度

日本企業の知見等を活用し、効果的に優良案件を発掘・形成するとともに、日本企業による権益獲得をより円滑にする目的を持ち、公募形式で各企業の提案を募り、審査の上、実施案件を決定する方式の調査制度です。この制度は、従来の海外地質構造調査に加え、2007 年 1 月に JOGMEC が新たに導入したもので、今回の共同スタディは、知見活用型海外地質構造調査の第 1 号案件です。

インドネシア共和国 東部海域 ババルスラル鉱区位置図



以上